

令和5年度 栗東市防犯のまちづくり審議会 結果

- ◆開催日時： 令和5年11月29日（水） 午後3時00分～午後4時40分
- ◆開催場所： 栗東市危機管理センター3階 大研修室
- ◆出席者： 【委員】 武邑委員、大橋委員、嶋林委員、坂口委員、吉永委員
山中委員、田中委員、富永委員、高田委員、片岡委員
【栗東市】 市長、危機管理局长
【事務局】 危機管理課長、危機管理課員3名
- ◆欠席者： 三木委員
- ◆傍聴者： なし

概要

1. 開会
2. 市民憲章唱和
3. あいさつ
 - ・栗東市長より
4. 委員委嘱状の交付
 - ・市長より各委員へ委嘱状を交付（代表で武邑委員に交付）
 - ・委嘱期間：令和5年11月29日から令和6年3月31日まで
5. 会長・副会長の選出について
 - ・会長に武邑委員が、副会長に大橋委員が就任
6. あいさつ
 - ・武邑会長より
7. 報告事項
 - ①栗東市および県の犯罪情勢
 - ②令和5年度における栗東市防犯重点推進状況等について
8. 審議事項
 - ・栗東市防犯のまちづくり審議会の今後のスケジュール案等について
9. その他
10. 閉会
 - ・あいさつー副会長

意見等

○防犯カメラ、防犯灯関係

- ・ごみ置き場への防犯カメラ設置の希望をよく聞く。
- ・防犯カメラについて補助事業しかないため、市独自で設置を行う事業をすべきではないか。

事務局説明：犯罪防止に繋がる場所について警察署と連携を行い、場所の選定を行います。

- ・防犯カメラの設置についてずっと前から言っている。ついでにすることで犯罪の抑止につながる。
- ・防犯カメラ補助事業を始めて10年以上になると思うが、設置補助だけでその後の運用、管理など点が自治会にとって大きな負担になっていると思う。運用、管理などについても補助を行うなどのフォローについて検討してほしい。
- ・一人暮らしの女性など防犯について不安がある方に防犯カメラを貸し出すような事業をしてほしい。

事務局説明：防犯カメラについては他市町の動向を見て効果検証中です。また、プライバシーの観点から即座に取り付けることは難しい状況にあります。

防犯カメラについて一度に大量につけるのは難しいだろうが、年間5、6台でもつけてほしい。

- ・3年ほど前から防犯カメラの話をしているが施策について全く進展がない。
- ・学校の周りで夜暗いと思う箇所がある。防犯灯をもっと付けてほしい。

○防犯広報関係

- ・まちかどは回覧で回っているが、見る人が少なく効果が薄いのではと思う。市の広報紙の一角に防犯の情報を載せてみてはどうか。
- ・老人会や子どもクラブの解散もあり、啓発をするタイミングが少なくなっている。茶話会など、高齢の方が集まる場を作り、啓発を行ってみてはどうか。
- ・掲示板も年々減ってきており、広報を行う場がなくなってきている。掲示板の設置について補助を行ってほしい。

事務局説明：掲示板については自治振興課にて補助を行っています。広報については今後、スマートフォンなどを用いた新たな形態のものを検討しています。

- ・防犯相談室など防犯について警察署よりも気軽に相談できるような窓口を設置してほしい。
- ・紙面での広報についてカラー印刷にしてほしい

事務局説明：経費の面で紙面のカラー印刷はできない。啓発の仕方をデジタル化することでカラーでみていただくことが可能になる。

○その他

- ・六地蔵では自治会長がLINEグループをつくっており不審者情報がいいたら共有している
- ・出前講座について回数は増やさないのか、内容についても地域の人の活動を盛り上げるようなものにしてほしい。

事務局説明：出前講座は現在、自治会などからの申し込みを受けて実施おり、現時点で2回実施しています。市から訪ねていく啓発の方法も検討していく内容についてはご意見を参考に検討していきたい

- ・ 審議会に学校教育課も参加してもらいたい。

事務局説明：学校教育課とも連携を取っており、本日は来ていませんが次回以降検討します。

- ・ 土木や危機管理でパトロールを行い、危険個所を見つけて対応してほしい。
- ・ 過去3年の予算の増減理由について教えてほしい

事務局説明：防犯メールの配信に係る費用を防災防犯一括のメール配信システムに変更し、防災の予算で計上したこと、防犯灯設置工事の有無が大きな理由

- ・ 警察署との連携はしていると思うが、地域に密着した存在である交番ともっと連携を図ったほうが良いのではないか。

事務局説明：交番とも連携を取れるよう、検討します。

○審議会の今後のスケジュールについて、委員の依頼を早めることについて

- ・ 承認